

《救急編》

1 救急概況

西予市消防本部管内の救急医療体制は、二次救急病院の市立(西予市民・野村)病院が隔日当番医制で対応している。しかし、総合的医療施設が無いために管外への転院搬送が多く、救急車が長時間にわたり管内不在となる場合がある。

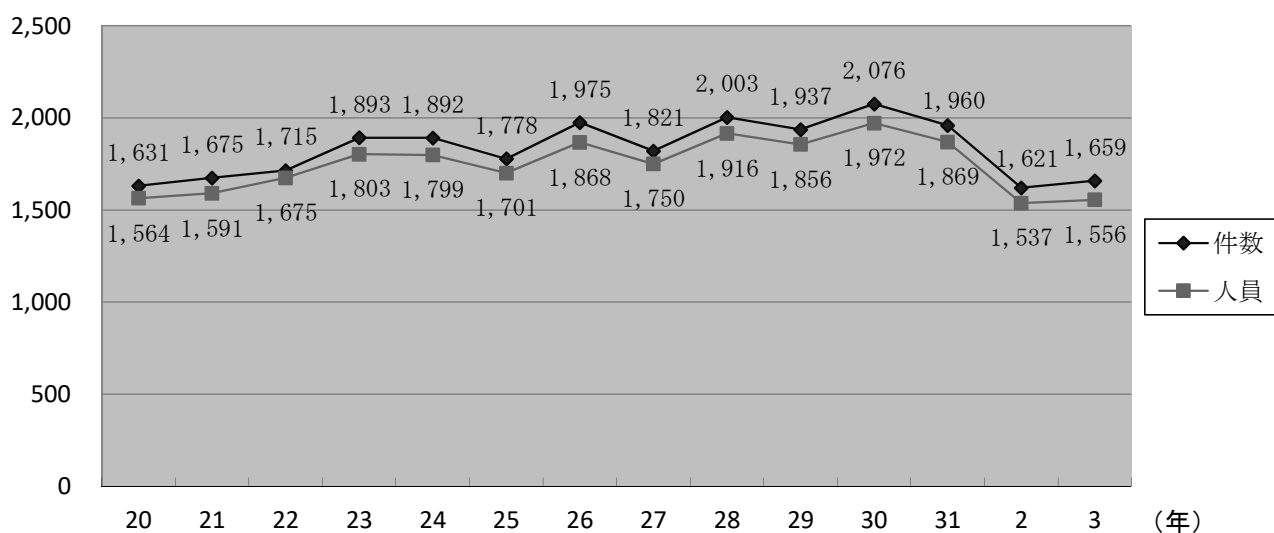
救急車両については、高規格救急車を本署に2台、野村支署、明浜救急出張所、城川救急出張所にそれぞれ1台、予備車を本署に1台配備している。

救急隊及び准救急隊は、救急救命士23人、救急Ⅱ課程修了者3人、救急科(救急標準課程)修了者31人、准救急隊員9人の計66人の職員で運用している。救急救命士については、気管挿管認定救命士17人(うちビデオ喉頭鏡認定救命士15人)、薬剤認定救命士23人、心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与認定救命士23人が登録されている。(上記の救急救命士数等には、管理職を除いた人員で計上)

2 年別救急発生状況

令和3年中の出場件数は1,659件(前年比38件増)、搬送人員は1,556人(前年比19人増)で、出場件数及び搬送人員ともに僅かに増加した。

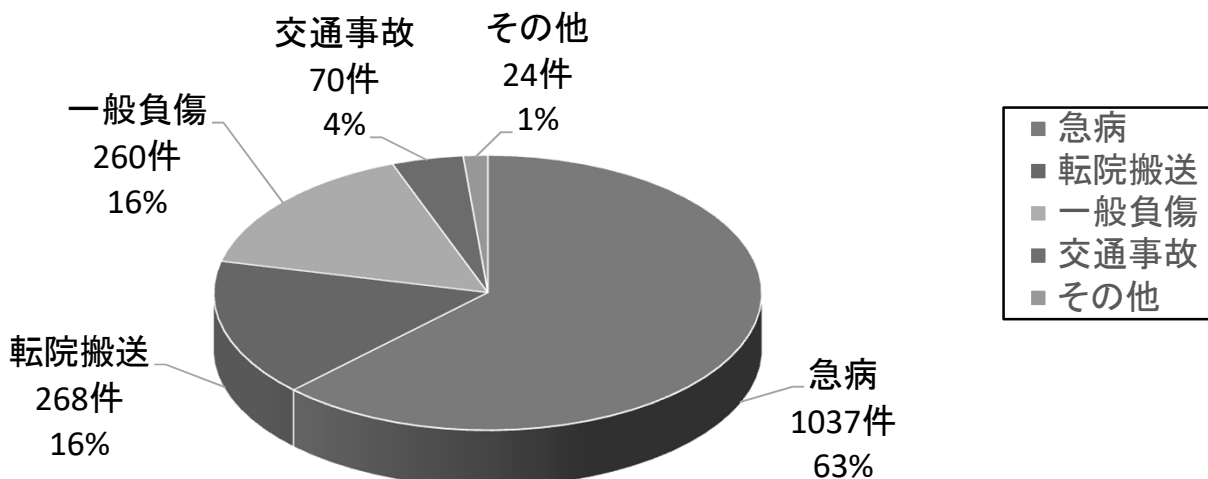
年別出場件数と搬送人員



3 事故種別救急発生状況

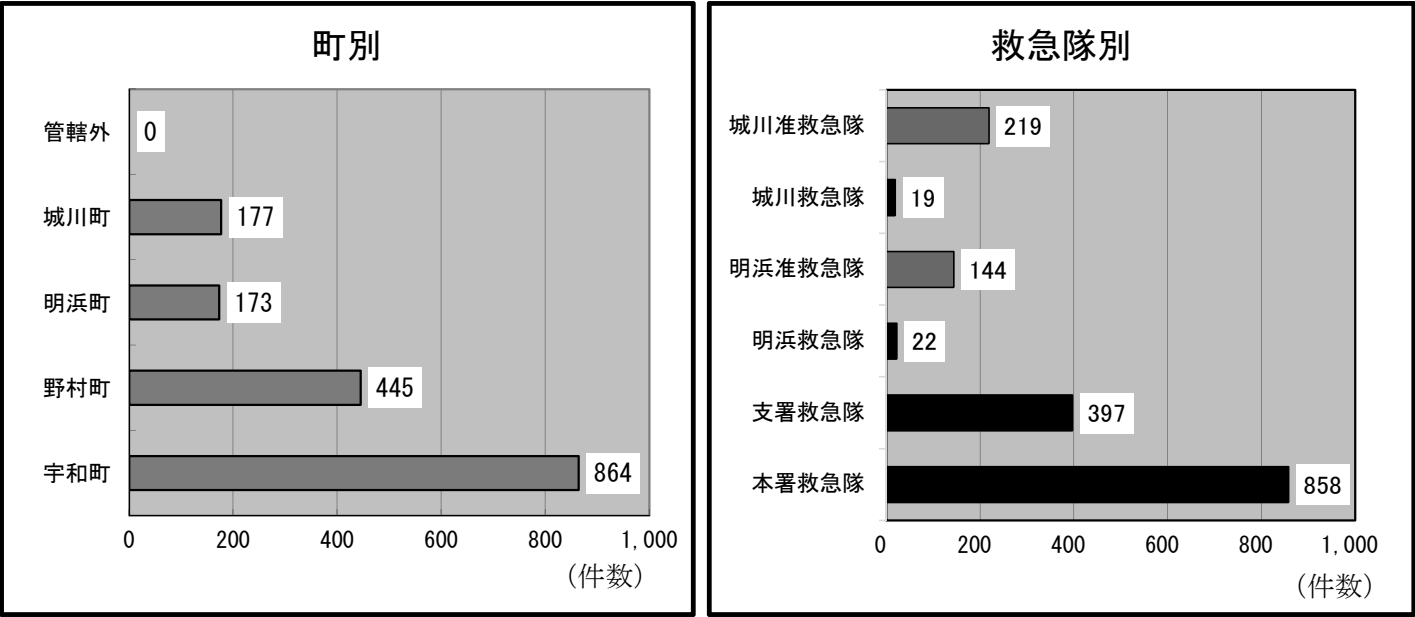
事故種別で最も多いのは、急病の1,037件(前年比29件増)で、次いで転院搬送の268件(前年比24件増)、一般負傷の260件(前年比17件増)、交通事故の70件(前年比17件減)となっており、急病による出場件数が約6割を占めている。

事故種別出場件数



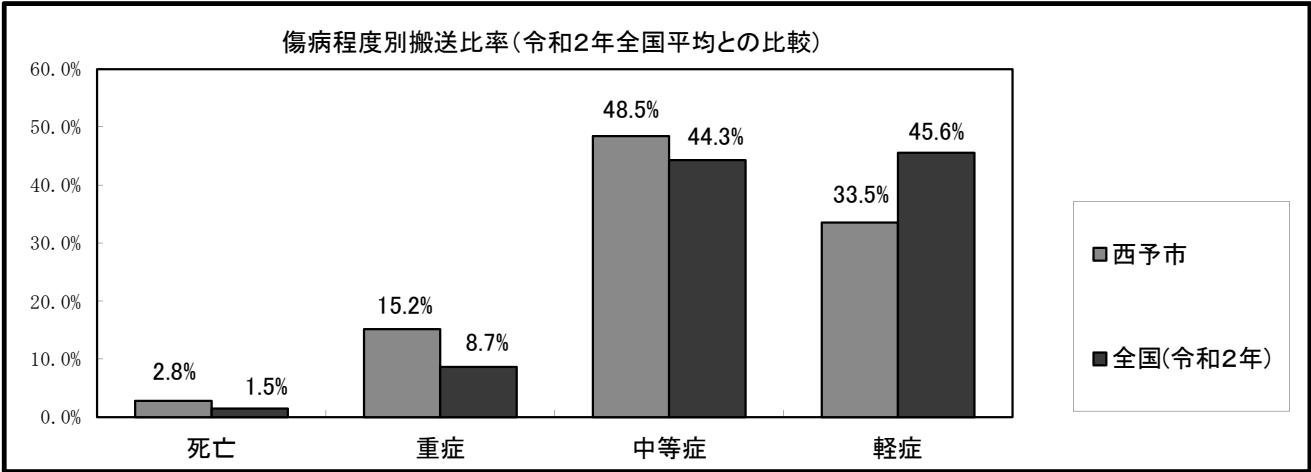
4 町別救急隊別救急発生状況

町別では、宇和町で864件発生しており全体の約50%を占めている。救急隊別では、本署救急隊が858件(51.7%)、支署救急隊が397件(23.9%)となっている。平成30年4月より運用を開始した准救急隊については、城川、明浜救急出張所で発生した救急の約9割に、准救急隊員を含む救急隊(准救急隊)で出場している。



5 傷病程度別救急搬送人員

傷病程度別の搬送人員は、死亡44人(2.8%)、重症236人(15.2%)、中等症754人(48.5%)、軽症522人(33.5%)となっており、令和2年の全国平均と比較して軽症が少なく、中等症以上で多くなっている。



事故種別傷病程度別救急搬送人員

種 別	合 計	死 亡		重 症		中 等 症		軽 症	
	人数	人数	比率%	人数	比率%	人数	比率%	人数	比率%
火 災	1	0	0.0%	1	0%	0	0.0%	0	0.0%
自 然 災 害	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
水 難 事 故	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
交 通 事 故	72	0	0.0%	5	6.9%	16	22.2%	51	70.8%
労 働 災 害	16	1	6.3%	3	18.8%	5	31.3%	7	43.8%
運 動 競 技	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
一 般 負 傷	242	1	0.4%	15	6.2%	120	49.6%	106	43.8%
加 害	1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
自 損 行 為	3	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
急 病	955	40	4.2%	110	11.5%	464	48.6%	341	35.7%
そ の 他	266	0	0.0%	101	38.0%	149	56.0%	16	6.0%
計	1,556	44	2.8%	236	15.2%	754	48.5%	522	33.5%

(注) 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合があります。

6 急病者の疾病分類と傷病程度別救急搬送人員

急病者の疾病分類では、循環器系279人(前年比13人減)が最も多く、次いで消化系132人(前年比1人減)、呼吸系108人(前年比8人減)となっている。

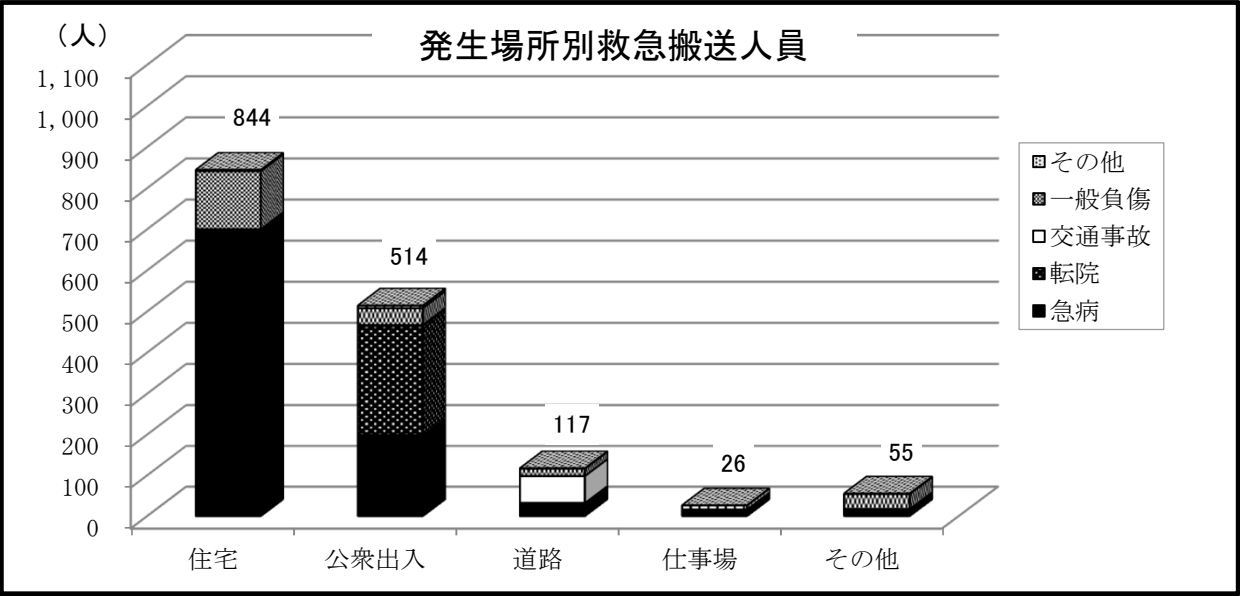
急病者の疾病分類別傷病程度別搬送人員

		死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	計	
循 環	脳 疾 患	1	44	67	33	145	15.2%
	心 疾 患	28	37	37	32	134	14.0%
消 化 系		3	10	78	41	132	13.8%
呼 吸 系		1	6	78	23	108	11.3%
精 神 系		0	0	3	22	25	2.6%
感 覚 系		0	1	21	41	63	6.6%
泌 尿 系		0	2	36	17	55	5.8%
新 生 物		1	2	12	2	17	1.8%
そ の 他		6	8	113	85	212	22.2%
診 断 名 不 明		0	0	19	45	64	6.7%
計		40	110	464	341	955	(人)

7 発生場所別救急搬送人員

発生場所別救急搬送人員は、住宅が844人(54.2%)、公衆出入が514人(33%)、道路が117人(7.5%)、仕事場が26人(1.7%)、その他の場所が55人(3.5%)となっている。

住宅では急病が最も多く、公衆出入では転院搬送が多くなっている。



8 過去5年間の町別救急発生状況

出場件数1,659件の町別状況では、宇和町864件(52.1%)、野村町445件(26.8%)、明浜町173件(10.4%)、城川町177件(10.7%)、管外0件と、宇和町での出場が半数を占めている。

人口比の利用率では、野村町が16.3人に1人と最も高く、次いで城川町の16.7人に1人、明浜町の18.4人、宇和町の19.8人に1人の順となっている。

町別救急件数(5年間)

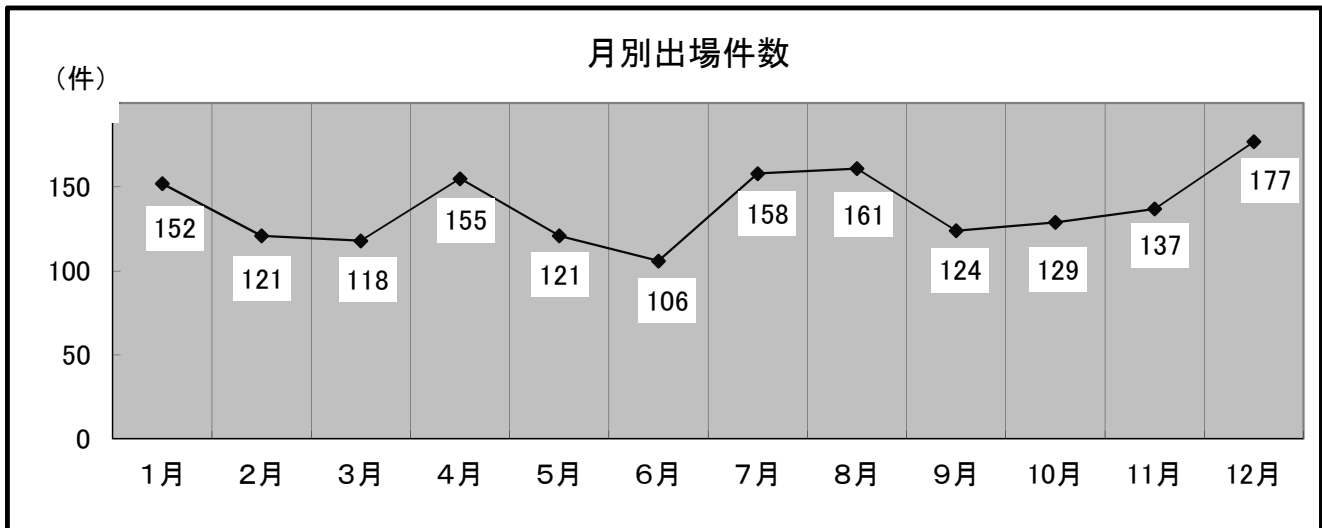
(人口：令和3年12月末現在)

暦年 町別	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		人口比 利用率	R3年 人口
	件数	比率 %	件数	比率 %	件数	比率 %	件数	比率 %	件数	比率 %		
明 浜 町	192	9.9%	257	12.4%	235	12.0%	157	9.7%	173	10.4%	18.4 人/件	2,890
宇 和 町	994	51.3%	1,068	51.4%	979	49.9%	830	51.2%	864	52.1%	19.8 人/件	16,437
野 村 町	552	28.5%	558	26.9%	515	26.3%	450	27.8%	445	26.8%	16.3 人/件	7,327
城 川 町	194	10.0%	189	9.1%	228	11.6%	181	11.2%	177	10.7%	16.7 人/件	3,027
管 外	5	0.3%	4	0.2%	3	0.2%	3	0.2%	0	0.0%	0	
計	1,937		2,076		1,960		1,621		1,659		18.3 人/件	29,681

(注) 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合があります。

9 月別救急発生状況

月別では12月が最も多く177件、次いで8月が161件と多くなっている。

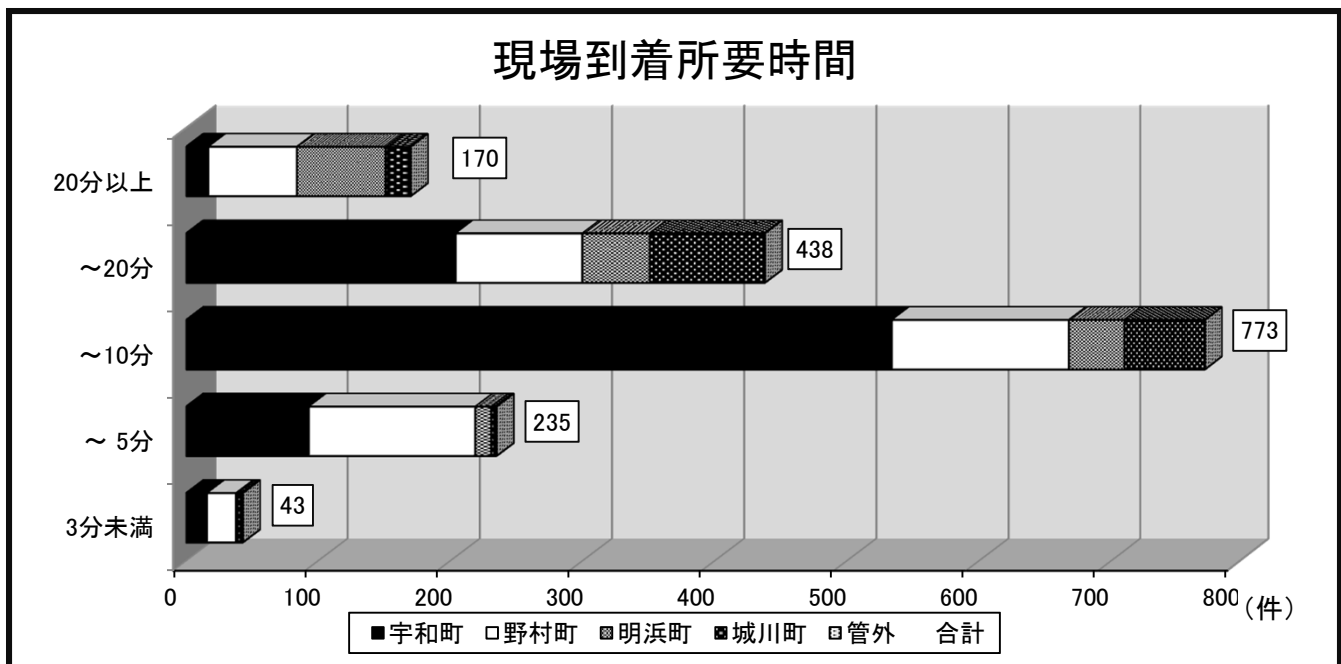


10 現場到着所要時間状況（入電～現場到着）

現場到着の平均時間は10分20秒で、昨年平均より48秒延長し、令和2年全国平均（8分54秒）より1分26秒遅い。

時間別の状況では、5～10分未満が773件で最も多く、全体の46.6%となっている。次いで、10～20分未満が438件と多くなっており、5～20分未満の合計が全体の約7割を占めている。

町別では、宇和町が8分12秒で最も早く、明浜町が15分27秒で最長となっている。



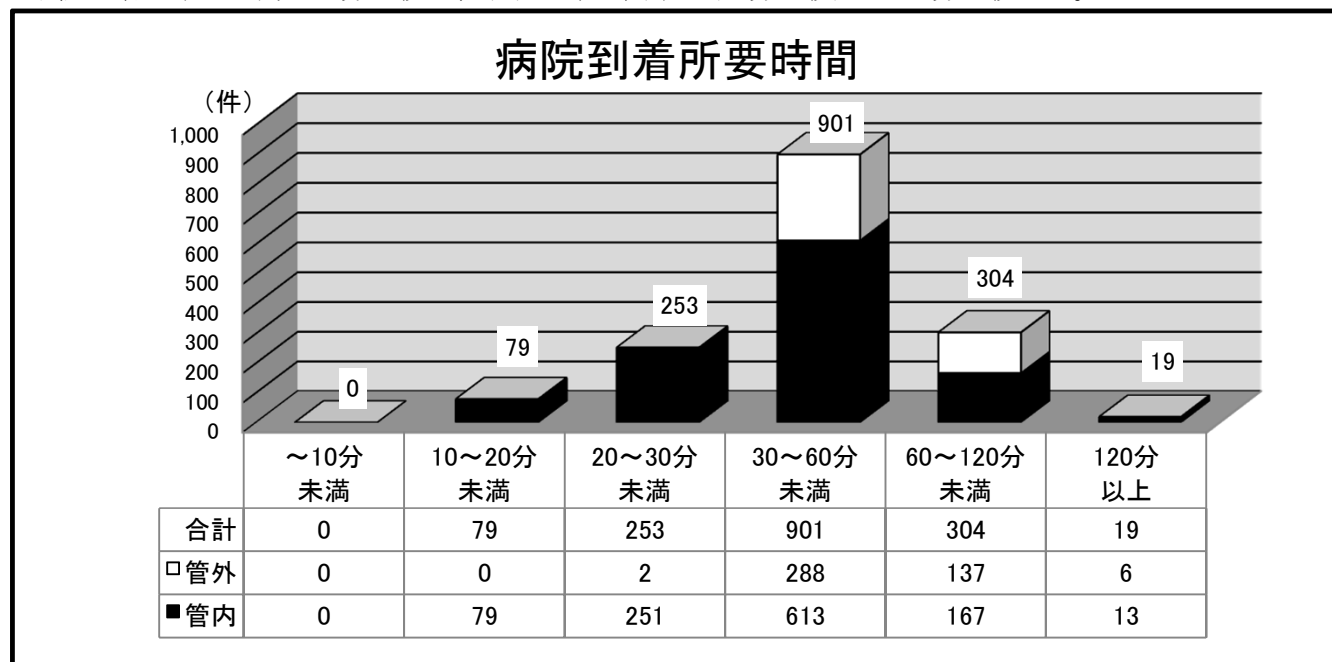
町別平均所要時間 宇和町（8分12秒） 野村町（11分42秒） 明浜町（15分27秒） 城川町（12分22秒）

町別現場到着所要時間状況

	宇和町	野村町	明浜町	城川町	管外	合計	%
3分未満	16	22	1	4	0	43	2.6%
～5分未満	93	126	12	4	0	235	14.2%
～10分未満	534	134	42	63	0	773	46.6%
～20分未満	204	96	51	87	0	438	26.4%
20分以上	17	67	67	19	0	170	10.2%
計	864	445	173	177	0	1,659	(件)

11 病院到着所要時間状況(入電～病院到着)

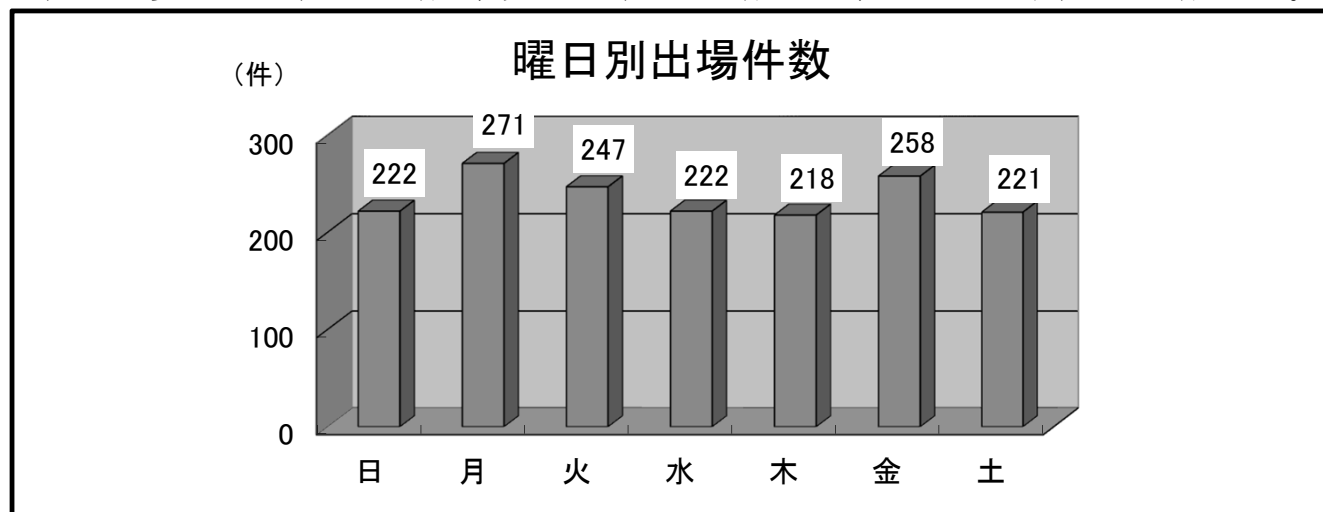
病院到着所要時間で最も多いのは、30～60分未満の901件となり、全体の57.9%となっている。
病院到着の平均時間は46分26秒で、令和2年全国平均(40分36秒)より5分50秒遅い。



病院到着平均所要時間 46分26秒

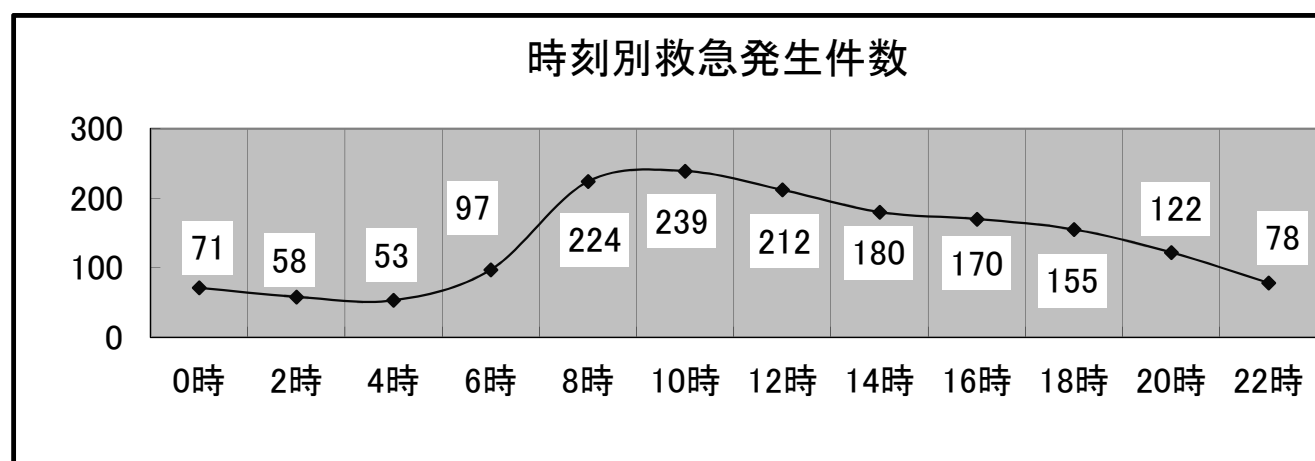
12 曜日別救急発生状況

曜日別で多いのは月曜日の271件で、次いで金曜日の258件となり、少ないのは木曜日の218件である。



13 時刻別救急発生状況

例年のおおり、生活時間帯と睡眠時間帯に分かれた傾向になっているが、最も多い時間帯は、生活時間帯の6時から20時で1,399件と集中しており、22時から4時頃にかけての睡眠時間帯が少ない。



14 救急隊員が行った応急処置状況

応急処置を対象とする傷病者は1,659人であり、処置別では、血中酸素飽和度測定1,495件(前年比12件増)と血圧測定1,486件(前年比22件増)は、応急処置を施した傷病者に対して、90%以上実施している。

また、心肺蘇生は50件実施しており、救急救命士の特定行為については、除細動3件、血糖測定26件、静脈路確保18件を実施し、さらに気管内挿管10件を行っている。薬剤投与に関しては、アドレナリン投与6件、ブドウ糖投与1件を行っている。

救急隊員が行った応急処置状況

	急病	交通	一般	転院	その他	計
応急処置対象人員	1,037	70	260	268	24	1,659
止血	2	0	19	0	2	23
固定	2	40	33	2	4	81
人工呼吸	1	0	0	0	0	1
心肺蘇生	45	0	2	0	3	50
うち自動心マッサージ	13	0	1	0	1	15
酸素吸入	259	3	21	75	6	364
気道確保	59	0	5	4	3	71
経鼻・経口エアウェイ	6	0	0	0	0	6
喉頭鏡、鉗子	8	0	2	0	0	10
食道閉鎖式エアウェイ	3	0	0	0	1	4
気管内挿管	8	0	2	0	0	10
保温	78	3	16	11	0	108
被覆	1	4	60	0	3	68
在宅療法処置継続	23	0	0	0	0	23
血圧測定	899	71	235	264	17	1,486
聴診器	455	33	51	14	6	559
血中酸素飽和度測定	906	71	237	264	17	1,495
心電図	569	9	57	138	6	779
除細動	3	0	0	0	0	3
静脈路確保	16	0	2	0	0	18
心停止前	4	0	1	0	0	5
心停止後	12	0	1	0	0	13
薬剤投与	6	0	1	0	0	7
アドレナリン投与	5	0	1	0	0	6
ブドウ糖投与	1	0	0	0	0	1
血糖測定	26	0	0	0	0	26

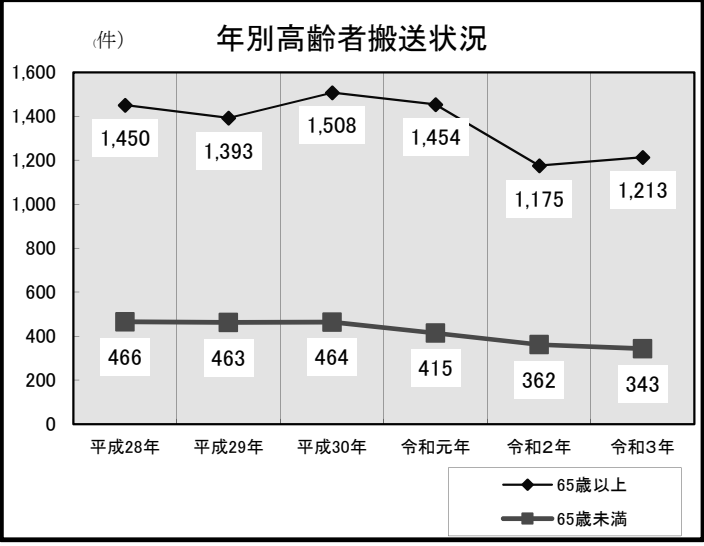
15 年齢区分別救急搬送人員

年齢区分では、高齢者(65歳以上)の1,213人(78%)が多く、次いで成人(18歳～64歳)の295人(19%)、乳幼児・少年の順となっている。

過去5年間を比較しても、年齢区分別搬送割合に大きな変動はない。

年齢区分別救急搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
火災	0	0	0	0	1	1
自然災害	0	0	0	0	0	0
水難事故	0	0	0	0	0	0
交通事故	0	0	6	37	29	72
労働災害	0	0	0	11	5	16
運動競技	0	0	0	0	0	0
一般負傷	0	3	7	31	201	242
加害	0	0	0	1	0	1
自損行為	0	0	1	0	2	3
急病	0	22	8	177	748	955
その他	0	0	1	38	227	266
年齢別合計	0	25	23	295	1,213	1,556



16 病院等所在地別及び収容機関別救急搬送人員

病院等所在地別及び収容機関別救急搬送人員では、管内搬送が1,120人(前年比15人減)、管外搬送が425人(前年比38人増)、ドクターヘリ・防災ヘリ引継ぎが11人(前年比4人減)となっている。

管内では二次救急当番病院(西予市民病院・野村病院)が1,099人(全体の69%)となっており、管外では、市立宇和島病院が326人で管外搬送の76.7%を占め、次いで大洲喜多医師会病院が36人で8.5%、県立中央病院が19人で4.5%となっている。

病院等所在地別搬送状況

管轄		本署	支署	明浜出張所	城川出張所	合計	比率%	病 院 名	救急告示	開設者
所在地										
管内搬送	明 浜 町	0	0	2	0	2	0.1%	あじき医院、たんぼぼ俵津診療所	その他	私 的
	宇 和 町	389	89	74	36	588	37.8%	西予市民病院	告 示	公 立
		15	1	0	1	17	1.1%	近藤医院、山下小児科 他	その他	私 的
	野 村 町	171	169	26	145	511	32.8%	野村病院	告 示	公 立
		0	2	0	0	2	0.1%	井関整形外科、宇都宮医院	その他	私 的
	城 川 町	0	0	0	0	0	0.0%			
小計 A		575	261	102	182	1,120	72.0%	管内病院合計		
		70.6%	68.9%	69.9%	83.9%					
管外搬送	宇 和 島 市	178	88	35	25	326	21.0%	市立宇和島病院	告 示	公 立
		0	1	0	0	1	0.1%	南予救命救急センター	告 示	公 立
		0	0	4	0	4	0.3%	独立行政法人宇和島病院	告 示	公 的
		6	0	1	1	8	0.5%	徳洲会病院、吉田病院 他	告示他	私的 他
	小計 (a)	184	89	40	26	339	21.8%	(宇和島市合計)		
	八 幡 浜 市	1	0	0	0	1	0.1%	八幡浜市立総合病院	告 示	公 立
		0	0	0	0	0	0.0%	双岩病院 他	その他	私 的
	小計 (b)	1	0	0	0	1	0.1%	(八幡浜市合計)		
	大 洲 市	21	11	1	3	36	2.3%	喜多医師会病院	告 示	私 的
		0	0	0	0	0	0.0%	市立大洲病院	告 示	公 立
		5	1	0	0	6	0.4%	大洲中央病院	告 示	私 的
		2	1	0	0	3	0.2%	大洲記念病院 他	その他	私 的
	小計 (c)	28	13	1	3	45	2.9%	(大洲市合計)		
	松 山 市	11	8	0	0	19	1.2%	県立中央病院、救命センター	告 示	公 立
		4	4	0	1	9	0.6%	松山赤十字病院	告 示	公 立
		1	0	0	0	1	0.1%	四国がんセンター 他	その他	私的 他
	小計 (d)	16	12	0	1	29	1.9%	(松山市合計)		
	東 温 市	3	0	0	0	3	0.2%	愛大附属病院	告 示	国 立
		1	2	0	0	3	0.2%	愛媛医療センター 他	その他	公 立
	小計 (e)	4	2	0	0	6	0.4%	(東温市合計)		
	鬼 北 町	2	0	0	1	3	0.2%	篠原医院	その他	私 的
	三 瓶 町	2	0	0	0	2	0.1%	三瓶病院		
小計 B (a～e)		237	116	41	31	425	27.3%	管外病院合計		
		29.1%	30.6%	28.1%	14.3%					
他 の 場 所 C		2	2	3	4	11	0.7%	Drヘリ(9)・防災ヘリ(2)引継ぎ		
合 計 C (A+B+C)		814	379	146	217	1,556				